TCK11801031404.pdf (0 - 12 m) 1/1 ページ

ボーリング柱状図

					∸ ⊞		*		AT.																							
						_調 査 名																ボー!	ノング	NO.								
						事業・工事名																		⊦NO.		. 1						
		ング		B-1	調査位置																		緯 30	6°3	36 ' 5	58.00	000 "					
		機		栃木県	宇都宮土	木事	務所						調査期間 現 場			2007-01-25 ~ 2007-01-27									東 経 139°48 ボーリン			48 '	30.00	000 "		
調査業者名						180°.			主任技師	h		/±	代理人			鑑 定 者				当	ハンマー				グ責任							
孔口標高				200.82	- "	上下	190		方 270 90 盤 鉛 面 页 页	☆ 水平 0°		使用機	試 錐 機								落下用具											
総	掘	進	長	11.12 m	度	0°			向 180° 南 配 90			種	I	ンジ	ン						ポンプ						_	_				
棰	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	坩	也孔					標準貫入試				 式 験			原	位置	置試験		料採	钢	室	掘		
	125	/=		,_	質		l	対	HO.	層岩	图 内	深	100				D 打							深	試	験名		試	採	内	進	
尺	高	厚	度	状	X X		密			[Z	(m)	度	11	-	*^	回数									度	およ	び結果	度	料	取	試	月
				図	分	調		度	事	5	測		0	10	20	貫													番	方	験	日
				Zi .	73	메	IQ.	IS.	-		定月		l '	20	1	λ			N		•——1ī	Ī							号	法	司大	"
(m)	(m)	(m)	(m)		砂利・礫				礫混りシルトの崖錐土		日	(m)				(cm)	C) 1	0 2	20	30	40	5	0	(m)			(m)				<u> </u>
					混りシル	茶褐			径10~30mmの角礫混在 -1.05m~コア長450mmの巨礫点で	E																						
-1				====		褐																										-
	199.32	1.50	1.50	0.0.0. 0.0.0.0 0.0.0:	粘土混り 砂礫				径10~40mmの角礫主体 風化礫混る	1		1.65				6	6															01/25
-2				.0.0.0 0.0.0 0.0.0 0.0.0	(GS-C)				粘土分の混入量非常に多い -1.5~3.1m付近非常に含水比高く 崩れやすい			2:95	3		1_	30	3															-
						茶褐			局部に暗茶褐色の粘土(凝灰質粘土)を薄く挟む -3.5m付近より玉石混入			2.50	1	1	15	35																
-3				.0.0.0 0.0.0 0.0.0					-3.6m付近コア長50mmの玉石混/ 下位は更に粘土分を多く含む			3.15	2	3	7	12_30	12	,	•													
-4	196.87	2.45	3.95	0.0.0	W- 1 'B 10							3.45																				01/26
				0.0.0	粘土混り 砂礫 (GS-C)				径10~40mmの角礫を主体に亜円 ・風化礫混る 粘土分の混入非常に多い			4.45	3	3	3	9	9	•]
: : -5						茶褐			-3.85m付近よりコア長100mmの 石混入 玉石以深凝灰質礫を多量に混入し	- 1		5.15				12			\													
			5.80	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					粘土分非常に多い 凝灰質礫径20~40mm -5.5m付近よりコア長120mmの硬質玉石混入 コアは斜状に節理			5.45	4	4	4	30	12		-	_												1
-6	195.02	1.85	5.80	.0.0.0	軟岩、風化岩				上部30cm風化進む -6.15m付近より柱状コアとなる			6.05	50			50 5	>50				+	\rightarrow	1									-
-					(WR)				-6.6m付近まで褐色化 岩質一定 無節理 以深白灰色の柱状コア 固結土は	- 1			50_			50																1 -
-7						褐灰			低いが新鮮な状態 下部の局所に斜状クラックあり			7.00 7.02	2	:		2	>50						_									-
													50	0_	0_	50_3																1
-8	192.32	2 70	8.50									8.00	3	0	0	3	>50						_									01/27_
- - -9	192.32	2.70	0.30		軟岩、風 化岩 (WR)	白灰			コアは泥土化し流失する 含水大 破砕帯状と推測される			9.00				E0																
_9 : :	191.52	0.80	9.30		軟岩、風	//X			上部から深度11.6m付近までコア	+		9.30	11	20	19	30	50															
-10					化岩 (WR)				は粘土質的で脆弱 暗灰色を主体に褐色化した風化部 を伴う			10.00)			11_																
						暗灰			-10.7m付近よりコア化している			10.30	3	4	4	30	11			_												
												11.00		33_		50						\downarrow										